



# 原風景を駆ける ことごと列車

〔平成筑豊鉄道 観光レストラン列車 3/21 運行開始〕

日本一ゆっくり走る列車が  
福智の原風景を彩る

「ことごと列車」はJR九州の「なつ星 in 九州」や「或る列車」を手がけた水戸岡鋭治さんがデザインした平成筑豊鉄道のレストラン列車です。運行は、土曜・日曜・祝日のランチタイム。「ゆっくり・おいしい・楽しい列車」をコンセプトに直方駅から行橋駅まで通常の2倍の3時間20分かけて走ります。車窓の見どころでは、スピードを時速15kmまで減速。車内、料理、景色と非日常の世界観を紡いでいきます。

福智町(金田)に本社がある平成筑豊鉄道は平成元年4月、旧国鉄の路線を引き継いで発足しました。沿線の人口減少に伴い輸送人員はピーク時の約342万人から半減。経営改善につとめてきたものの、業績は伸び悩み、沿線外からの誘客が長年の課題でした。今回、国や県、沿線市町村の助成をうけ、既存の車両を大改装して生まれ変わった列車は、国内外からの観光誘客資源として大きく期待されています。観光交流が地域の利益を生み、地域をあげての「おもてなし」が町全体の活性化へとつながる——。ことごと列車の運行は、その絶好の機会と言えます。

福智の原風景に映える  
深紅に輝く車両。  
乗る人も見る人も魅了する  
非日常の景色がここに——



上／車窓から望む田園風景と福智山。右下／流れるように移りゆく緋色の木花。左下／林の中を抜ける直線は、見どころのひとつ。車窓のロゴマークがアクセントに。



左／線路のはるか先にはことごと列車の姿が。市場駅付近では数分停車し、田園風景が楽しめる。右／線路の両脇に咲き誇る菜の花がことごと列車を包み込む。

**DATA**

走行距離	74.6km
運行区間	直方駅～行橋駅(片道)
時速	15km～40km
所要	3時間20分
定員	1号車 18名・2号車 30名



〔平成筑豊鉄道 路線図〕  
※ 赤は「ことごと列車」の停車駅。  
トイレ休憩のほか田川伊田駅ではマルシェが開催される。  
※ 直方→行橋は9月末までの運行ルート。